

1 給料のしくみ



国立病院機構の

医師の給与は、独自の給与規程に基づき支給

医長以上は、業績が給与に反映される年俸制の仕組みを導入

年収について

総支給額見込

令和4年度

院長 (平均年齢: 62歳)	平均 約 2,030 万円 (約 1,820 万円～)
副院長 (平均年齢: 60歳)	平均 約 2,010 万円 (約 1,580 万円～)
部長 (平均年齢: 58歳)	平均 約 1,890 万円 (約 1,420 万円～)
医長 (平均年齢: 52歳)	平均 約 1,720 万円 (約 1,130 万円～)
医師 (平均年齢: 43歳)	平均 約 1,550 万円 (約 1,000 万円～)

※ 上記の平均金額は1年間在職した各役職における職員の総支給額（税金や社会保険料等を控除する前の額）の平均であり、個人によって、基本給（年齢、経験年数の長短）、年2回の賞与（NHO 在職期間、評価結果）、勤務実績に応じて支給される手当（超過勤務時間数、宿日直回数等）、生活関連手当（扶養手当等の有無）によって差が生じます。

※（ ）内の金額は、令和4年度の各役職において、上記の要因により最も低い金額を参考値として記載しています。

2 業績年俸とは

～能力が活かされる給与制度～



年俸

月例年俸 + 業績年俸（賞与）

月例年俸

年額の12分の1ずつを毎月支給

業績年俸（賞与）

- 毎年6月と12月に年額の2分の1ずつ年2回支給
- 医長以上は、「個人・病院」の業績を業績年俸（賞与）に反映
※ 最大前年度の+20%

個人業績と病院業績の配分

院長	病院業績（100%）
副院長	個人業績（50%）、病院業績（50%）
部長	個人業績（80%）、病院業績（20%）
医長	個人業績（100%）

※ 病院業績は経営面と医療面の業績を反映

POINT

- 年1回の昇給あり
- 月例年俸の他
扶養手当等の各種手当を支給